

高田援護室長の模型部屋

皆さんこんにちは。前回まで「募集班長の模型部屋」として私の作った模型を紹介させて頂きましたが、このたびの異動で高田駐屯地援護室長に着任しました。なので、名称も新たに引き続き模型を紹介させていただきます。いつも応援して頂いている皆様よろしくお願いします。

初めての方もおられると思いますので、あらためて自己紹介させていただきます。高田駐屯地援護室長の齊藤と申します。出身は上越市で、高校卒業後入隊しプラモデルの戦車が大好きなことから当然機甲科を熱望、念願かなって機甲科隊員になり、北海道の第7機甲師団の第71戦車連隊、第72戦車連隊、第73戦車連隊、第7偵察隊と、師団全ての戦車部隊と、北方総監部広報室、そして解隊されましたが、北部方面隊直轄戦車部隊の第1戦車群での勤務を最後に22年間の北海道勤務を終え、群馬県の第12旅団司令部勤務を経て、23年4月より生まれ故郷の新潟地本での勤務となっております。

戦車部隊で乗っていたり、一緒に訓練していた装備品のほか、旧軍や各国の戦車等のプラモデルを紹介させて頂いております。作成途中は私のツイッター「高田援護室長の模型部屋」にて掲載していますのでよろしければこちらも見てくださいね。プラモよりプライベートの記載が多いかも。娘二人を抱えたシングルファーザーなので、子育てネタもツイートしてます。

さて、記念するほどでもないですが、第1回目は・・・

4式中戦車です。



旧日本陸軍の試作で終わった幻の戦車です。当然戦歴も無い戦車ですが、諸外国の戦車に大戦末期になってようやく近づいた戦車です。

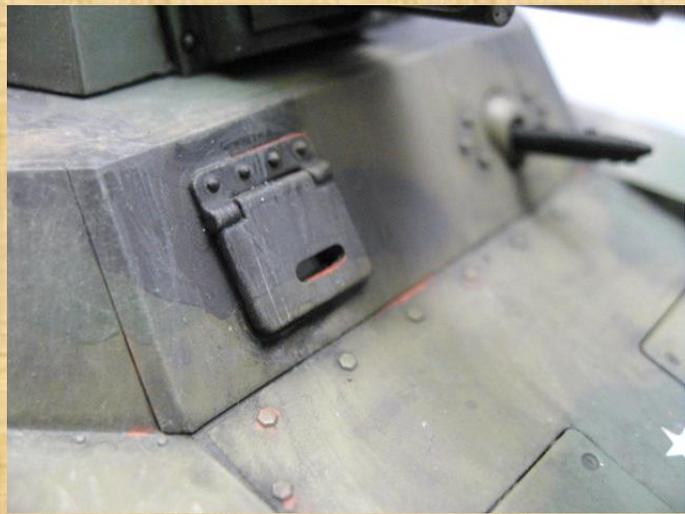


キットは旧軍車両を多くキット化しているファインモールド社製です。キットは部品数も程よくて非常に作りやすく、細部にわたるディテールは幾多の取材をされたのだろうと苦勞が伺われます。ただ、ベルト式履帯の素材が悪く、完成後プチプチ切れてしまう状況が生起してしまい、完成をあきらめてました。その後、履帯の材質が変更になって発売されたキットから流用しています。したがってその履帯が手に入るまで時間を要してしまい、完成まで5年を費やしました（笑）



過去に紹介させて頂いた5式中戦車や3式中戦車と火力は違いますが、同じような形状をしています。

この頃の流行の形だったのか、設計構想が同じなのかは分かりません。いずれにせよ、当時の主力戦車であった97式中戦車に比べればはるかに強そうです。



実戦投入されてませんから写真もないので、塗装はもちろん、泥や埃の着き方は想像です。戦車乗員であった頃を思い出し、走るとこんな感じで泥が付くのでは？乗員が乗り降りするとここに泥が付くのでは？塗装の薄くなりがちな場所や水はけが悪いところが錆びるのでは？などと思い馳せながらウェザリングしました。ウェザリングはGS1クレオスの「日本戦車色セット」を使用し、サクラマット水彩マルチ絵の具の黒と茶色でスミ入れ。その後タミヤウェザリングスティックやタミヤのピグメント（ライトアース）を使用してます。錆びはパステルコンテの茶色を使用して、少し付着させては濡らした綿棒で拭き取りとぼやかしを付けて自然に錆びた状態を表現・・・したつもりですがどうでしょう？足回りは遠慮なくドロドロにしました。パレードを除いて綺麗な戦車なんかありません！



マフラーの錆びは熱の膨張で塗装がすぐに変色・剥離が予想されることから激しく錆びさせました。パステルコンテを粉のまま乗せることにより、錆びの凸凹を表現しました。ワイヤーはフラットブラックの上に鉛筆の芯の粉をこすり付けて金属感を出しています。



戦車兵はミニアート社製です。外国のキットなのに日本人らしい顔立ちをしています。フラットフレッシュでの顔の塗装の後、クリアーオレンジとブラウンを混ぜたもので表面にシミ入れし、表情を出しています。でも汚いかな・・・



戦車の銘版は、他のキットのエッチングパーツを使用しています。文字に合わせて凹凸になっているのが分かりますかね。他のキットのいろんな部品も捨てずにとっておくのも大事です。普段の生活で「断捨離」が出来ないのはこのためかもしれません。（だらしないだけかも）

昔は再塗装をする余裕がないと思われるので、ハッチ類のフチは必ず錆が発生していただろうと予想されるので少しだけかつ多数の箇所を錆を塗ってます。



実際の歩兵から見ればこんな感じで見えるのでしょうか。こんな感じで戦場に登場したら心強いと感じるのは私だけかな。



で、お決まりの私が好きなアングルである砲塔を横に向けて疾走する戦車です。「砲手、前方800、民家の横敵戦車、鉄鋼撃て!」「発射!」と射撃号令を掛けていたかは分かりませんが、ついニヤニヤしちゃいます。

戦車ってカッコイイな。もちろん、使われない事が一番です。さて、今回はここまで。今後も引き続き紹介させていただきますので、ご愛顧のほどよろしくお願いたします。